

社大 70 周年に向けて～

「変革する力：力量あるソーシャルワーカーへの途」 を考え、卒業生の経験から学ぶ

日本社会事業大学創立 70 周年を翌年に控えて、本年（2015 年）6 月 27 日、28 日に第 54 回日本社会事業大学社会福祉学会研究大会を参加者 733 人を集めて開催しました。大会テーマ「変革する力：力量あるソーシャルワーカーへの途～地域包括ケアを問う」のもと、豊中市社会福祉協議会事務局次長の勝部麗子氏をお招きしてご講演頂いた記念講演を皮切りに、2 日間にわたり熱心に大会テーマを中心に活発に議論を頂きました。

2 日間のプログラムでは、大会テーマ関連のシンポジウムを開催したほか、本学を卒業して「力量あるソーシャルワーカーへの途」をたどって来られた木田賞受賞者（宮本節子様、真鍋喜代美様）、ADSW の認証を受けた専門職大学院修了者（加藤莉絵様、富澤一洋様、吉永恵子様）の実践スピーチを伺い、活発な意見交換を行いました。この他、一般演題 9 題と報告者交流会、学生企画 4 件、海外スタディツアー 3 件、自主企画、サークルセッション、各資格課程フォーラムなどの交流分科会など多様なプログラムを設けて、成功裡に第 54 回研究大会を終了することができました。

研究大会を開催するに当たって、前回大会から 1 年間にわたり熱心に準備を進めて頂いた実行委員会委員・学生幹事会の皆さんをはじめ、多くの会員や関係者の皆さまのご協力、ご尽力によって有意義な研究大会になりましたことに、改めまして心より感謝とお礼を申し上げます。

さて来年の第 55 回研究大会は、本学創立 70 周年の年に開催される記念すべき大会になります。大会テーマについては、今年度テーマを継続することを予定しています。戦後日本の社会福祉を切り拓き、「変革：力量あるソーシャルワーカーへの途」を歩んで来られた卒業生の皆さま、先達の皆さまから多くを学ぶとともに、今日の福祉課題にいま、そしてこれからのように立ち向かって行けば良いのか、共に議論できることを願っております。

周知のとおり本学の歴史と伝統、その実績は、日本の戦後復興の歴史と共に築かれて来ました。本学の卒業生の皆さまは、戦前・戦後の福祉サービスがほとんどない不毛の状況の中



から、人々の福祉を実現するための各種福祉制度、福祉サービスを生み出す「積極的社会事業」を行い、それを社会の中に位置づける活動を実践して来ました。

ことし2015年は戦後70年を振り返り、日本社会のあり方を改めて問う社会的な議論が活発に行われています。本学でも、来年行われる本学70周年記念事業に向けて、戦後復興の歴史と共に発展した本学の歴史を深く振り返るとともに、日本の社会福祉のあり方、変革に寄与し力量あるソーシャルワーカーへの途を歩むことの意味を、それぞれの立場で考え、来年の第55回大会にご参集頂くことを願っております。

この一年間、本学全体を上げて、また同窓会のご協力も頂いて卒業生の経験から学ぶ機会を多く設け、皆さまと「変革する力：力量あるソーシャルワーカーへの途」をともに考えながら、2016年を、そして2016年11月5日の70周年記念式典を迎えたいと思います。皆さまの積極的なご参画を宜しくお願いいたします。

2016年1月

日本社会事業大学社会福祉学会会長
日本社会事業大学学長

大 嶋 巖

